

「1950年代教育史」研究部会（第49回）

日時：2020年11月6日（金）13:00～

場所：オンラインで開催（Zoom使用）

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・山口和人・川上智子

内容：（1）米田俊彦研究員：紀要の序章 付論「1. 日政連の「結成」まで」および第2節1～4項

◆前回報告の序章の「補論」の部分修正（「補論」ではなく「付論」とする？）

日教組の政治団体化について、その後判明したことなどを加筆・修正

- ・1952年は「日政連」と改称された年で、結成は52年以前のようなが発表等の記録が見つからない→公示など正式な資料を探す

◆「第2節 1948年教育委員会法による市町村教育委員会の過渡的性格」の原稿検討

1. 教育委員会法および地方教育行政法に関する先行研究の評価
2. 市町村教育委員会の設置延期（1948・50年）と教育委員会制度のあり方に関する審議検討
3. 1952年全面設置延期法案をめぐる攻防
4. 中央教育審議会・地方制度調査会での審議
5. 市町村合併の進展

（2）須田将司研究員：紀要 第4節「静岡県における「三誌体制」の確立」の検討

◆静岡大学大学文書館の資料調査

教育学部倉庫に保存されていた1951年以降の「教授会議事録」綴りを閲覧

『教授会議事録』にみる「教育研究所」関連の論議

- ・研究所規程改正の論議経過
- ・これまでわからなかった教育研究所が〈文部省の通達〉によって廃止となった経緯
→学部を設置した研究所の運営に校費を充てるのは不可、閉鎖を止むを得ないとの結論
- ・機関誌『文化と教育』刊行の変遷
→県教組・校長協会発行の『静岡の教育』との統合案が論議され両誌を発展解消、統合誌『教師の広場』（1964年～）が発行される
- ・1963年度には「教育研究機構」設置の論議
総合研究所として全学部・附属校が参加できる組織体を目指す

・次回研究会は、2020年12月18日（金）13:00～。大島研究員・鳥居研究員発表

・次々回 2021年1月29日（金）13:00～。西山研究員・米田研究員予定